

科目区分	基礎科目	科目名	日本文化概論		科目コード	20S040	担当者	大町 福美、高木 郁子			
対象学生	生活創造学科 茶養士コース 2年生	学期区分	後期		単位数	2	担当形態	複数			
		授業区分	講義								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択必修				
						免許・資格要件					
科目の主題						学修成果との関連 (大◎、中○、小△)					
華道：数百年という悠久の時の流れの中で結実した世界に誇れる文化です。日本の美しい四季を通して「日本のこころ」について学びます。 茶道：茶の湯の芸術性、精神性にふれ、伝統文化・自己表現としての「お茶の世界やその心」を知る。茶道の文化体系としての構造や成り立ちを知り、茶の湯に関わる基本的知識等を学ぶ。						1. 「 <b>尽心</b> 」 誠実な人柄と人間力		2. 「 <b>創造</b> 」 高度な知性と創造力		3. 「 <b>実践</b> 」 明確な意思と実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現考力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	自由花を個性豊かにいけることにより、「表現の喜びや感動」を味わう。										
2.	いけばなの成り立ち、基本的知識や表現の仕方を学ぶ。										
3.	茶の湯の芸術性・精神性にふれ、伝統文化・コミュニケーションとしての「茶の世界やその心」を知る。										
4.	茶道の文化体系としての構造や成り立ちを知り、茶の湯に関わる基本的知識などを学ぶ。					○		○		○	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度 (20%) 提出物 (80%)					
<p>[華道] ・プリントを配布し板書しながら講義形式で行う。 ・華道教授にいけばなを実演していただき華道の知識を深める。また学生も花を生ける機会がある。</p> <p>[茶道] ・茶道裏千家紹介パネル、茶花を提示。レジュメを配布し講義形式で行う。伝統文化である着物を見せる。 ・実際に点前を見せる回、茶事ビデオを使用する回がある。</p>											
課題等への対応						授業外学修時間					
毎回提出される感想レポートに対し所見を述べ、疑問に答えます。						週 1 時間					
回数	授業計画					学習課題 (予習・復習)					
第 1 回	オリエンテーション (担当：大町・高木)					授業内容をレポートにまとめる					
第 2 回	いけばなの成り立ち (歴史) (担当：大町)					授業内容をレポートにまとめる					
第 3 回	いけばなの基本 (用具・花器・技法) (担当：大町)					授業内容をレポートにまとめる					
第 4 回	自由花 (特徴・表現・構成法) (担当：大町)					授業内容をレポートにまとめる					
第 5 回	実技①自由花 (担当：大町)					授業内容をレポートにまとめる					
第 6 回	実技②自由花 (担当：大町)					授業内容をレポートにまとめる					
第 7 回	生花 (正風体・新風体) (担当：大町)					授業内容をレポートにまとめる					
第 8 回	立花 (正風体・新風体) (担当：大町)					授業内容をレポートにまとめる					
第 9 回	茶の湯とは？ (茶道の歴史と、芸術性、精神性について) (担当：高木)					安土桃山時代を思い返す					
第 10 回	わび茶の大成者、千利休 (新しい価値観の創造) (担当：高木)					利休にまつわる人物を調べてみる					
第 11 回	茶室空間と宇宙 (床の間の掛物や茶花を中心に) (担当：高木)					身の回りの物事を感じ取る					
第 12 回	茶道具の知識 (歌銘を中心に。盆略点前を見る) (担当：高木)					毎回のレジュメを読み返しておく					
第 13 回	茶懐石・茶菓子 (伝統文化としての食。ビデオで茶事を見る) (担当：高木)					ビデオの内容についてレポートにまとめる					
第 14 回	自己表現としての茶 (立春の茶会に寄せて) (ビデオで茶事後半を見る) (担当：高木)					ビデオの内容についてレポートにまとめる					
第 15 回	お茶のこころ (日本人としての感性) (担当：高木)					「茶」によるコミュニケーションを理解する					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	必要に応じて資料等を配布します。					受講生へのメッセージ	日本の審美の世界である「華道と茶道」はあなたの心と人生を豊かにします。				
参考書等	なし										